

2名復帰をバネに!

第70回定期地方大会を開催



発行所 国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 平山芳夫
編集者 清水孝次

2007年11月1日
第1445号

●国労加入を 大胆に訴えよう!

地方本部は、十月二十日、長野市の長野県労働会館で、第七〇回定期地方大会を開催した。

討論では、十四名の代議員が発言し、とりわけ国労復帰を勝ち取った二つの分会から元気の出る報告がなされた。活気ある討論が展開されるなか、採用差別事件の早期解決、職場労働条件の改善を柱とし、安全・安定輸送の確立など二〇〇七年度運動方針を決定した。役員改選では、執行委員を一名増員し、来年度以降の予算を勘案する含みを持たせた。

大会準備支部の総合車両所支部下平文雄委員長のあいさつに続き、伊藤公正副委員長が開会あいさつを行ない、資格審査委員会より代議員



平山委員長は、あいさつで、①JR採用差別事件の早期解決に向けて四者四団体の団結で11・30集会成功と一集一集会に向け支援共闘と共に全力を挙げる

②職場労働条件の改善、安全・安定輸送の確立のため点検摘発の強化と職場の仲間から信頼される運動を取り組む ③二名の仲間を迎え更なる組織強化・拡大の取り組み ④平和を守る闘いの強化、とりわけ憲法を守る立場からテロ特措法に反対し予想される衆議院議員選挙に取り組む、の四点について述べた。

委員長あいさつ

三五名中三十名の出席報告を受けて、大会の成立が宣言された。議長には、唐沢一代議員(松本運輸区分会)、副議長に長沢基明代議員(長野運輸分会)が選出された。

来賓あいさつ

高橋博久(県労組会議議長)、中川博司(社民党県連合幹事長)、山口典久(日本共産党県委員会書記長)、芝内敏幸(部落解放同盟長野県連財務委員長)、市川育雄(長野県労働金庫常務理事)、飯田敬次(全労済県本部理事長)、国労議員団(清水清利小諸市議、宮澤信雄筑北村議、平井英司木祖村議、竹内宏美小布施町議)の各氏からあいさつをいただいた。

また、小林会長をはじめ鉄道退職者の会の皆さん、山崎会長をはじめ国労家族会の皆さんが紹介された。

山根執行委員

最後の締めくくりを前国労中央本部書記長の吉田進氏から今までのお礼と不採用問題の現状と闘いについてお話をいただいた。



来賓の皆さんの退席後、東日本本部山根執行委員から、①労働条件の改善に全力を注ぐ。その中身として営業制度改善に関する闘い。和降以降国労の主任職が

問題。具体的には特別協定をなくす。十三条との区別を明確にする。超勤時の全社的マニュアルの作成。③不採用問題の早期解決。11・30集会の成功と政治解決の取り組みを強化する。④貨物の和解交渉について述べ、東労組の分裂の中で国労の果たす役割は大変重要になり所属組合を越えて国労がいかに闘うかが問われていると述べた。

……◆……◆……◆……
つづいて、祝電・

2007年度 地方本部役員

(10月29日開催の第1回執行委員会で任務分担を決定した)

役職名	氏名	(分会名)	任務分担
執行委員長	平山芳夫	(製造)	総括
執行副委員長	伊藤山崎信一	(松本保線区)	委員長補佐・組織部長
書記長	佐藤正幸	(諏訪運輸)	政治・共闘部長
執行委員	原山真彰	(長野機械区)	企画・法対部長
"	柏尾孝次	(車両二科)	総務・財政部長
"	清水孝次	(小海線)	業務部長
"	太田耕三	(松本運輸区)	教宣部長
"	桜井正広	(車両二科)	調査部長
"	吉澤英夫	(飯山線)	青対部長・組業・業務
"	富沢政一	(長野運輸)	組織・教宣
"	塩原智久	(小海線)	支部派遣執行委員
"	諏訪浩一	(松本運輸区)	"
"	清水健	(車両二科)	"
会計監査員	若松英正	(貨物篠ノ井)	"
"	上倉善昌	(車両一科)	"
"	坂本真知子	(諏訪運輸)	"
青年部長	倉石健男	(貨物篠ノ井)	"
婦人部長	藤牧英	(長野運輸)	"
特別執行委員	持	(貨物篠ノ井)	貨物担当
"	英	(新幹線東信駅)	東日本本部会計監査員

四百名以上にのぼり、この事を背景に勤務の実態や業務のあり方を見直す会議を設定。肌で和音が実感できないでいる職場実態の調査。②三六協定と超勤、年休の問題。具体的には特別協定をなくす。十三条との区別を明確にする。超勤時の全社的マニュアルの作成。③不採用問題の早期解決。11・30集会の成功と政治解決の取り組みを強化する。④貨物の和解交渉について述べ、東労組の分裂の中で国労の果たす役割は大変重要になり所属組合を越えて国労がいかに闘うかが問われていると述べた。

……◆……◆……◆……
つづいて、祝電・

☆討論

十四名の代議員発言

午後は原山執行委員より二〇〇六年度決算報告から始まった。監査報告と承認を経て、組合基金の一部取り崩し、本部貸付金への「債権放棄」の提案・承認後、予算案の提案が行われ

た。
 協約・協定および業務関係報告に続く討論では、十四名の代議員が発言した。

■二名の国労復帰
 ・大変明るいニュー・スで元気がでた
 ・門前チラシの配布を通し、大胆な組織拡大が大切
 ・人間関係や職場実態での拡大は可能だが国労運動を理解させての拡大は難しい。

■J R不採用問題
 ・国民、大衆を巻き込んだ闘いが必要
 ・一県一集会の宣伝と闘いの強化を
 ■職場の安全環境
 ・上田駅の感電事故と職場の安全問題
 ・分会で安全に関する申し入れを行った
 ・業務研究会を通して作業ダイヤの見直しを行った
 ■予算案と専従配置

☆書記長集約

中間答弁、集約答弁に立った佐藤書記長は、次の七点について述べた。

①財政と専従配置 財政検討委員会の内容を分会に知らせるようになりたい。また、財政が厳しいのは指摘のとおりであり地本執行委員を一名増やし、来年度以降、専従、非専従、書記局の検討にあたり、本来あるべき姿を提案したい。ただ、国鉄闘争に支援を頂いている共闘関係との連携のために専従者をおく事の重要性を理解してほしい。

②J R不採用事件 極めて重要な時期を迎えている。四者四団体の団結と11・30集会の成功と地本独自の街宣行動、チラシ配布の運動を取り組み、一県一集会を開催して



③闘争団支援 支援米、カンパを含め闘いを強化する。美幌、紋別闘争団との関係修復を図っていく。

④職場の安全と安定・安全輸送 職場では技術継承問題やサービス向上の問題、安全な作業の確立など問題が山積している。現場の要求を集約し交渉を強化すると共に、現場での基本的な問題は現場で解決する道筋をつけていく。貨物の問題については、客貨一体で学習会や決起集会を開催して行く。

⑤組織強化・機関強化 二名の組織拡大は大きな力となった。門前でのチラシ配布など打って出る前向きな活動で組織拡大に当たる。試験では一定の成果が現れているが和解の実感を点検摘発運動の強化を通し問題を検証し改善にあたる。職協を越えた交流会や専従者の各職場へのオルグを行う。

⑥平和・人権・民主主義を守る闘い 新テロ特措法に反対し、予想される衆議院の選挙にも全力であたり、平和と民主主義を守る。

⑦北陸新幹線長野以北開通後の信越線存続問題 近隣の地方本部とも連携を保ちロカル線を守る闘いを取り組む。

問題
 ・組合費が高いと他労組から言われる
 ・専従も含め組織の見直しを
 ・財政検討委員会の内容を分会にも知らせる
 ■貨物和解問題
 ・先に和解ありきではない対応をとるの意見もある
 ■長野以北の在来線の問題
 ■平和と憲法の問題
 ・支部合同で学習会を開催した
 ■遠距離通勤の実態と、国労組合員の励

ましの報告
 ■情宣活動
 ・組合役員とのギャップをなくすためにも重要
 ・地本のニュー・スも、もう少し多く出して欲しい
 …◇…◇…◇…
 中間答弁で山根東日本本部執行委員から、貨物の和解は六つの事件と、のべ百二十人の当事者で争われている。少人数の救済ではなく職場の問題点の解決に役立てる。そのため、なにをどのように打開するのか具体的内容で検討に入り、和解ありきではない、例え賃金規定の特例十七条の問題も含め和解の場でもより良い案を作って行くような場

永年勤続役員表彰

(敬称略)

徳永 利成	松本保線区
関 正和	製造
古畑 秀夫	塩尻運輸
宮沢 公雄	松本電気
土屋 秀樹	小海線
中島 璋文	新幹線運転所
高嶋 節子	長野運輸

機関紙コンクール表彰

優秀賞	貨物塩尻機関区分会 「国労塩尻機関区分会ニュース」
佳作	長野新幹線運転所分会 「国労新幹線」
努力賞	製造分会 「せいぞろニュース」

退任した役員

後藤正次 特別執行委員
 吉田 進 特別執行委員
 朝倉和久 会計監査員

ごくろうさまでした。

後藤特別執行委員、吉田特別執行委員、朝倉会計監査員が退任した。
 特別決議および大会宣言を採択し、最後に、

をつくる、と述べた。
 …◇…◇…◇…
 書記長集約の後、一般経過報告、二〇〇七年度運動方針及び予算がそれぞれ承認された。スト権投票は賛成三二、反対一により確立された。今大会をもつて後藤特別執行委員、吉田特別執行委員、朝倉会計監査員が退任した。



「きんろうフェスティバル」

今年も行ないます！

全組合員の協力で成功を！

11月23日(金・祝)10時から

長野市・城山公園

平山委員長の団結ガンパローで大会を終了した。